



ほけんだより

2024年6月発行



梅雨入りの季節となります。一日の寒暖差や湿度の高さに体調を崩しがちな時期です。熱中症予防、夏場の感染症対策など身体を整え夏本番に備えましょう。

5月の病気休み 熱…14日/14人 RSウイルス…3日/1人 鼻血…1日/1人 昨日の熱…2日/2人 大事とり…4日/4人
喘息…1日/1人 咳…3日/9人 胃腸炎…3日/1人 中耳炎…7日/3人 嘔吐…1日/2人

暑さ指数(WBGT)～熱中症予防の指標～



- ・黒球式の指数計で計測します。
- ・乳幼児は成人と比べて背が低く地面からの輻射熱の影響を受けやすいので、地表から50cmの高さで計測しています。

- ・単位は℃で表しますが、気温の単位とは違います。
- ・「気温」、「湿度」、「日射・輻射熱」、「風」の要素をもとに

算出された指標

- ・園でも毎朝計測し、WBGT28℃以上で散歩は中止、31℃以上で水遊びは中止にしています。



暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け涼しい室内に移動する
嚴重警戒 (28℃以上 31℃未満)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25℃以上 28℃未満)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 ver.3(2013)より

今年度 1 回目の健診があります。

(2回目は11月です)

全園児健診 (奥沢キッズクリニック)

(藤井先生)

6月6日 (木) 午後 ひよこ、りす、うさぎ

6月20日 (木) 午後 ひよこ、幼児

歯科検診 (半沢歯科医院: 半沢先生)

6月27日 (木) 午前 全園児

夏場に多い感染症

- ・「ヘルパンギーナ」「手足口病」「咽頭結膜炎(プール熱)」が5～6月から始まり7月にピークを迎えます
- ・いずれも5歳以下に多い感染症です。・感染経路は飛沫、経口、接触など

	ヘルパンギーナ	手足口病	咽頭結膜炎(プール熱)
潜伏期間	2～4日	3～5日	5～7日
発熱	38～40度が1～3日続く	平熱～38度	38～39度(4日ほど)
症状	喉に1～5mmの水ぶくれ	手や足に2～3mmの水ぶくれ 口の中の全体に2～3mmの水ぶくれ	喉に炎症 ※眼症状の結膜炎は主症状
ウイルスの排出	治癒後、2～4週間	治癒後、2～4週間	発症後7～14日。治癒後1ヶ月は便に排出あり。